



2026年4月27日

各位

会社名 株式会社NextOne
代表者氏名 代表取締役CEO 阿南 雅浩
(コード番号: 7094 東証グロース)
問い合わせ先 常務取締役 渡邊 史弘
(TEL: 03-5475-5029)

2026年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、2025年5月13日に公表した2026年3月期の通期連結業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、配当予想につきましては、前回発表予想から変更はありません。

記

1. 2026年3月期 通期連結業績予想の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,000	百万円 1,800	百万円 1,800	百万円 1,200	円 銭 123.00
今回修正予想 (B)	20,770	1,300	1,330	790	80.90
増減額 (B-A)	△ 2,230	△ 500	△ 470	△ 410	
増減率 (%)	△ 9.7%	△ 27.8%	△ 26.1%	△ 34.2%	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	19,412	1,005	1,028	692	70.96

2. 修正の理由

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、2025年5月13日公表の前回発表予想と比べ、売上高では主に著作権管理事業のインタラクティブ配信及びDD事業において計画を下回る見込みとなりました。また、その他(ビジネスサポート)事業において、第2四半期から開始した新規サービス(ライブハウスソリューション「GIGGS」、2026年3月末に第三者へ事業譲渡)の取引先開拓やサービス展開が想定よりも遅れたこと等が減収要因となりました。

利益面では、販管費は計画を下回って推移したものの、売上高の計画未達により前回発表予想比で減益となる見込みとなりました。加えて、連結子会社であった株式会社エッグス(2026年4月1日付で連結子会社である株式会社レコチョクに吸収合併)において「GIGGS」等の一部事業譲渡に伴い無形固定資産の減損損失約240百万円を特別損失として計上することにより、親会社株主に帰属する当期純利益が計画を下回る見込みとなりました。

なお、中期業績計画につきましては、期末の業績及び外部環境の変化等を考慮して毎年ローリング方式で策定して公表しております。2027年3月期から2029年3月期の中期業績計画は2026年5月12日の通期決算発表と同時に開示する予定です。

(ご参考1) 修正後のセグメント別の売上高及び営業利益の前回発表予想との差は下記のとおりです。

(単位：百万円)

セグメント	売上高		営業利益	
	今回発表予想	前回発表予想	今回発表予想	前回発表予想
著作権管理事業	1,600	1,920	700	890
DD事業	10,340	12,530	1,040	1,250
音楽配信事業	7,720	7,510	1,560	1,480
ビジネスサポート事業	1,970	2,630	△320	△180
調整額	△860	△1,590	△1,680	△1,640
合計	20,770	23,000	1,300	1,800

(ご参考2) 修正後の販管費の前回発表予想との差は下記のとおりです。

(単位：百万円)

内訳	販管費	
	今回発表予想	前回発表予想
人件費	2,400	2,600
システムその他	1,610	1,700
販管費合計	4,010	4,300

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上